

参考文献の記述形式に慣れましょう！

学術書や論文集には「参考文献」「引用文献」などのリストがあります。著者が執筆の際に参考にした(または引用した)文献がどういった資料なのか読み取れるようになります！

### 図書の例

著者名. 書名. 版表示, 出版者, 出版年, 総ページ数.

#### <例1 和書(単行本)>

加藤幹郎. 映画とは何か. みすず書房, 2001, 262p.

著者名      書名      出版者(社)      出版年      総ページ数(“p.262”であればそのページのみをさす)

KULINE[蔵書検索]で  
検索値となります  
検索できません

#### <例2 和書(単行本の中の一章)>

富田恭彦. “認識論史の終焉.” 哲学史の哲学. (岩波講座 哲学 14),

飯田隆 他編. 岩波書店, 2009, p.171-195.

編者名      出版者(社)      出版年      掲載ページ

シリーズ名

KULINEでは  
「章題名」ではなく  
「書名」で検索！

#### <例3 洋書(単行本)>

Kant, Immanuel. Experiences and its systematization : Studies in Kant.

著者名      書名

2nd and enlarged ed, Nijhoff, 1972, 206p.

版表示      出版者(社)      出版年      総ページ数

- 様々な書き方があるため、ここに載せた例とは異なる場合もありますが、「著者名」の後ろに題名が二つ並ぶときの順番は「章題名(論文名)」「書名(誌名)」です。
- 「書名」の記述には『』やイタリック、下線が用いられることがあります。

\* 参考文献(下記の文献はオンラインで閲覧できます)

科学技術振興機構. “参考文献の役割と書き方”

[https://jipstj.jst.go.jp/sist/pdf/SIST\\_booklet2011.pdf](https://jipstj.jst.go.jp/sist/pdf/SIST_booklet2011.pdf), (参照2016-06-29).